

MMH HISTORY 019

2006年(平成18年)

建替え工事を開始

三井記念病院では、看護学院棟を解体後の2006年(平成18年)10月16日に、田中順一郎元理事長(元三井不動産会長)をはじめ110名が出席する、全面建替え工事の起工式が執り行われました。施工は鹿島建設・三井住友建設共同企業体、設計・監理は日本設計、総合企画は三井不動産が担当し、都心病院では類をみない規模の建替え工事は順調に進められていきました。(続く)



起工式で鉄入れをする田中元理事長

原点にあり続けるのは、
患者と医療者が
「ともに生きる」こと。

社会福祉法人

三井記念病院



〒101-8643 東京都千代田区神田和泉町1番地 TEL:03-3862-9111(大代表)
<http://www.mitsuihosp.or.jp/>

ともに 生きる

Mitsui Memorial Hospital

vol.20
2016年10月号

【特集】すすむ医療

心臓大動脈 センター

●専門医が語る
急性心筋梗塞を起こす原因
『ブランクアップチャー』

●教えて!とも子さん
セカンドオピニオン

●転ばぬ先の筋トレ
体幹筋は身体を支える土台 その2

●かなめ
総合健診センター

●三井記念病院の登録医紹介
神田クリニック

特集

すすむ医療



救える命がそこにある。
新しい医療技術、新しい薬。
日進月歩で進んでいく医療。

医療技術の進歩に伴い、医療の現場は
どのように変化しているのか。
新しい技術とは一体どのようなものなのか。
広報誌「ともに生きる」では、こうした実情を医療の
最前線で活躍する専門医がひも解いていく
「特集 すすむ医療」を企画しました。
病気についての正しい知識を身につけ、
早期発見・早期治療に取り組んでいきましょう。



Interview 田邊 健吾 医師

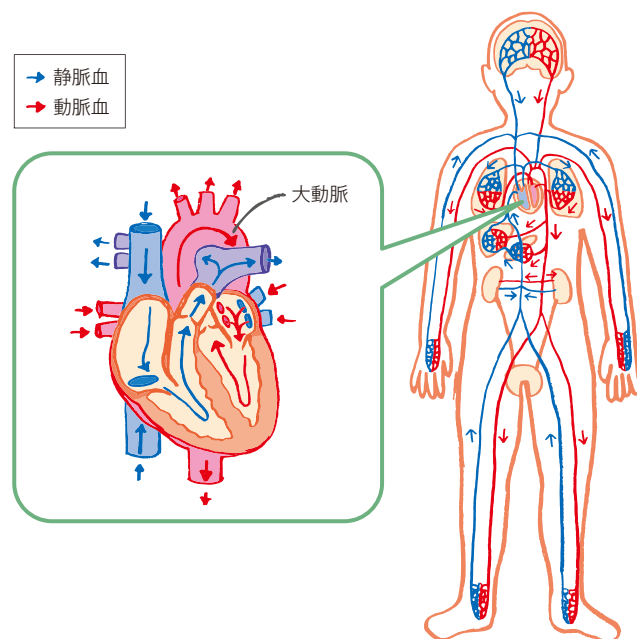
1995(平成7)年 名古屋大学医学部卒業
1995(平成7)年 東京大学内科研修医
1996(平成8)年 三井記念病院内科レジデント
1997(平成9)年 三井記念病院循環器内科
2001(平成13)年 オランダ エラスムス大学附属
Erasmus Medical Center,
Thoraxcenter, Research Fellow
2003(平成15)年 三井記念病院循環器内科
2005(平成17)年 三井記念病院循環器内科 医長
2008(平成20)年 三井記念病院内科 医局長
2008(平成20)年 三井記念病院循環器内科 科長
2013(平成25)年 三井記念病院循環器内科 部長
2016(平成28)年 三井記念病院心臓大動脈センター センター長
現在に至る

心臓大動脈センター

三井記念病院は、2016年9月に「心臓大動脈センター」
を開設しました。

大動脈は心臓から全身に血液を送り出す血管(動脈)
で、血液循環の大元です。そのため、この血管に関連する
疾患は重症化や死亡するリスクが高くなります。

三井記念病院の「心臓大動脈センター」は、循環器内
科と心臓血管外科が綿密に連携することで、心臓大動脈
疾患に対し、質の高い医療を迅速かつ適切に提供してい
きます。


心臓血管外科と循環器内科の垣根を
越える「心臓大動脈センター」の誕生

—三井記念病院に心臓大動脈センターを設置された背景
を教えてください。

心臓の疾患は、急速に症状が悪化する危険性が高い病気
です。そのため、患者さんの容態の変化に医療者は敏感であ
る必要があります。また、治療においても外科的手術と内科的
治療の連携が求められる領域です。これまでも当院の特徴で
ある“診療科の垣根の低さ”を活かし、心臓血管外科と循環
器内科は連携してきましたが、センター化することでより一層の
連携を強め、チームワークを強化し、患者さん一人ひとりに最
適な治療を提供していきたいと考えました。



心臓大動脈センターのメンバー

患者さん一人ひとりに
最善の治療を提供する

—心臓大動脈センターではどのような疾患を対象とされて
いますか？

主には、虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)、大動脈疾患
(大動脈瘤・大動脈解離)、心臓弁膜症(大動脈弁・僧帽弁)、
大動脈弁狭窄症、重症心不全、不整脈など、心臓・血管に関す
る疾患を幅広く対象としています。

患者さん一人ひとりに対し、循環器内科の医師と心臓血管



狭心症・心筋梗塞



不整脈・心不全

外科の医師、そしてそれぞれの科の看護師、事務スタッフ、さら
に他科の医師や放射線技師など多職種のスタッフが集まり、
『手術がいいか、カテーテルでの治療がいいか、合併症のリスク
は…』など、その患者さんにとって最適な治療法を検討した上
で、治療にあたっています。

—センターとして取り組むことで、患者さんにはどのような
メリットがありますか。

心臓大動脈センターと看板を掲げることで、医師、看護師、
事務スタッフなど職種を問わず心臓疾患に真正面から向き合
うことになります。また、組織的にスキルアップを目指すので共に
学会に出席したり、治療や症例に関する情報を共有したりでき
ます。そうしていくと、職種間を超えて行き交う情報も増えま
すし、個人の経験値もチームの経験値も向上します。医師ではな
い看護師や事務スタッフでも、患者さんのちょっとした質問に
答えることや、患者さんの急な容態の変化にも迅速に反応す
ることができるようになり、結果的には、患者さんに質の高い医
療を提供できるのではと思っています。

患者さんの中には

- 心臓疾患の他に人工透析をしている
- 心臓疾患と糖尿病の併存症がある

など、複数の病気をお持ちの方がおり、治療にあたっては心臓
疾患以外の病気にも注意を要する場合があります。特定の専
門病院の場合は術後、別の病院に移り他の治療を受けに行
かなければならず、患者さんに負担がかかる恐れがあります。
この点当院は33の診療科それぞれに経験豊富なスタッフがお
りますので、院内で密な連携を取りながら病気を総合的に治療

●心臓大動脈センターの強み


診療科を超えた
意見交換


知識・知見の共有



診療科間連携


最適な
治療法の探求

職種間
コラボレーション

創造的な
アイデアと技術

することができます。術後は十分なりハビリ治療を計画し、患者さんがご自宅に帰られてから日常生活にスムーズに戻るができるよう支援し、退院していただくようにしています。

多職種によるチームでの成長を目指し、患者さんに満足度の高い治療を提供していきたい

——心臓大動脈センターの開設によって、院内ではどういう効果を期待されていますか？

当院は以前から、患者さんの急な容態の変化に医師以外のスタッフも敏感に反応できるよう努めてきました。センター化することで、こういったスタッフの意識がさらに向上することを期待しています。心臓疾患は急変が想定される病気ですので、待合室での患者さんの顔色や言動の変化を、看護師や事務スタッフでも敏感に察知し危険を回避できるような体制をつくりたいと思います。

また、これまでは診察室に入ってから、医師が今後の治療のスケジュールや細かな注意点の確認を行っていました。こういったことを看護師や事務スタッフが待合室での待ち時間に行えるようになれば、診察室では医師が患者さんの顔を見ながら診察することに時間をしっかりと取れるようになると思います。

——患者さんの反応はいかがですか？

やはり、待ち時間が長い、かつ、診察の際もあり顔を見ずパソコンでカルテばかり書いているというような診察では患者さんは不満に感じられます。センター化することで、少しずつです

がこういったことが改善できているので今後は患者さんの満足度も向上できると思います。

当院では、大動脈弁狭窄症のカテーテル治療である「TAVI」を実施しています。これは比較的新しい治療で、開胸手術と比べ身体への負担が小さいため、TAVIでの治療を希望する患者さんが多くおられます。一方で合併症のリスクも高く、術前の検査も複雑です。そのため、TAVI治療の準備を進めていくと、患者さんも時に不安になられます。そういったときに、当センターであれば、看護師が治療について医師よりも患者さんの日常に沿ったわかりやすい言葉にかみ砕いて説明します。患者さんからは、治療に対するいろいろな不安が解消されて、安心して治療を受けられることが出来たと言っている方がいます。

——心臓大動脈センターが今後目指す姿をおしえてください。

みなさんは自分が『美味しい!』と思うレストランのシェフが気に入っているお店に行ってみたいと思いませんか？実は当院でも同業の医師が患者としてみえることがあります。私は患者さんに数ある病院の中から当院を選んでもらうことはもちろん、同業者である医師や看護師からも選ばれるセンターにしていきたいと考えています。

また私自身、担当した患者さんが元気になられていく姿を見ることや、治療した患者さんから『ありがとう』と、言っていたけに非常に喜びを感じます。これがより良い医療を提供したいというモチベーションにつながります。この喜びを医師だけでなく、当センターのスタッフ全員が感じられるように、チームワークの強化・スキルアップを進め、チーム全体のモチベーションを維持できる好循環を作り出せるチームになっていきたいです。

●三井記念病院の実施件数

2013年1月1日～2015年12月31日実施※1

オフポンプ 冠動脈バイパス手術 258件	弁膜症手術 289件	大血管手術 166件	大動脈 ステントグラフト 111件
カテーテル治療 (PCI) 1,137件	不整脈治療 354件	心不全治療※2 866件	TAVI※3 77件

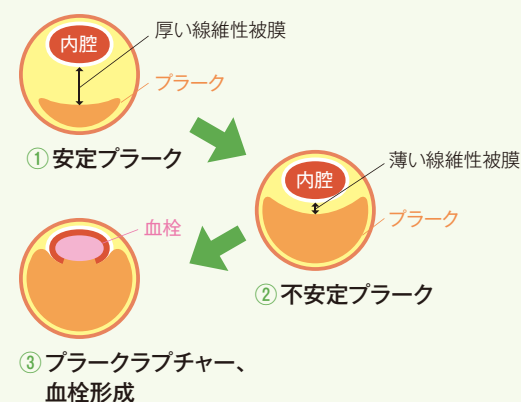
※1 三井記念病院 部門システムより算出

※2 DPCデータより算出

※3 2013年12月11日～2016年8月24日実績

専門医が語る 「急性心筋梗塞を起こす原因 『プラークラプチャー』」

●イメージ：冠動脈のプラークラプチャー



Interview 矢作 和之 医師

2006(平成18)年 三井記念病院内科 初期レジデント
2008(平成20)年 三井記念病院循環器内科 後期レジデント
2013(平成25)年 米国CVPPath Institute, Inc. リサーチフェロー
2016(平成28)年 三井記念病院循環器内科 医員

急性心筋梗塞は、虚血性心疾患の一つで、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病が原因で発症するとされ、強い胸の痛み、呼吸困難や背中、左肩に痛みを感じることがあります。一旦心筋梗塞が生じると、心臓のポンプ機能が低下し、重篤例では突然死するケースもあります。最近では高齢者ばかりではなく、若年層でも増加傾向にあり注意が必要な病気となっています。

急性心筋梗塞は、心臓に栄養を送っている血管(冠動脈)に血のかたまり(血栓)ができ、血液が流れなくなることで心臓の筋肉が壊死してしまう病気です。急性心筋梗塞について現在わかっている原因のひとつが「プラークラプチャー」です。まず初めに、冠動脈の壁にコレステロール等で形成された“脂のかたまり”(Plaque:プラーク)が様々な要因によって徐々に大きくなります。プラークは線維性被膜という組織に覆われています(イメージ①)。病理学的研究では、線維性被膜が $65\mu\text{m}$ (0.065mm)以下になると、破裂のリスクが高くなるとされ、これを不安定プラークと言います(イメージ②)。この不安定プラークが最終的に破裂(Rupture:ラプチャー)し、そこに血栓ができ冠動脈が閉塞することで急性心筋梗塞が発症します(イメージ③)。

プラークラプチャーは動脈硬化が進むことによって起こり、高血圧、脂質異常症、糖尿病、喫煙等と強く関連することがわかっています。

急性心筋梗塞は発症する前に、胸痛などの予兆がしばしばみられます。病状が進行すると、症状が出やすくなったり、間隔が短くなったり、さらには症状が現れている時間が長くなってきます。この時点で、冠動脈のプラークは不安定になり、プラークラプチャーのリスクが非常に高くなっている可能性があります。かといって、プラークラプチャーは運動時・安静時問わず、何の予兆も無く突然発症することもあります。胸痛など身体に異変を感じたら放置せず医療機関を受診し、医師とご自身の心臓の状態を確認し、動脈硬化を進展させないよう生活習慣の改善に取り組みましょう。



ともこさん

教えて! **とも子さん**

20

診察編

「セカンドオピニオン」

セカンドオピニオンとは、現在の主治医以外の医師に意見を求める制度です。
「主治医に言いだしづらい…」という方もいるかもしれませんが、治療を受けるのは患者さん自身です。
納得して治療にのぞむために選択肢の一つとして考えてみませんか。

ある診察室の一コマ

医師「〇〇××の治療法で進めていきましょう。」



Fさん「ネットでは他の治療法もあったんですけど…」
治療方針について悩んでいるようです。



「主治医と患者さんのあいだで
最善と思える治療法を判断するため、
セカンドオピニオンを検討しましょう!」

●まずは主治医の診断理由と治療方針をききましょう

「自分の症状、進行度、なぜその治療法をすすめるのか…」
まずは主治医の話をよくきき、疑問や不安を解消しましょう。
それでも他の医師の意見をききたいときは…

三井記念病院のセカンドオピニオンの詳細は、**当院オフィシャルサイト「セカンドオピニオン外来」**を
ご覧いただくか、**地域連携室03-3862-7900(直通)**までお問い合わせください。



ステップ 1 主治医にセカンドオピニオンの相談をしましょう

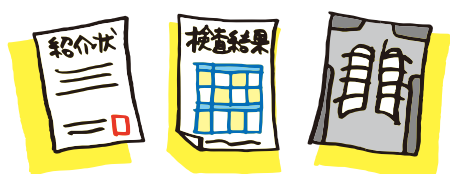
主治医と相談し、セカンドオピニオン先の病院を決めましょう。また、受診先の医師にききたいことを整理しておきましょう。

ステップ 2 セカンドオピニオン外来に申し込みましょう

セカンドオピニオン先の病院窓口で連絡をして、必要な手続きを確認しましょう。基本的に自費診療となり、時間や料金は各医療機関によって異なります。

確認事項例

- ▶ 予約日時
- ▶ 相談時間・費用
- ▶ 必要な書類(紹介状、検査結果、レントゲンフィルム等)



セカンドオピニオンでは新たな治療や検査は行いません。

ステップ 3 受診後は主治医に報告し、今後の方針を相談しましょう

セカンドオピニオン先への転院や治療を希望する場合は、あらためて紹介状を準備し、転院先の外来を受診するのが一般的です。



転ばぬ先の**筋トレ**

vol. 04

体幹筋は身体を支える土台

その2

運動の習慣がない人にとって「筋トレ」は、非常にハードルが高く、できれば避けて通りたい話かもしれません。
しかし、筋肉の衰えは、様々な病気やけがにつながる、ほっとけない問題なのです!
簡単に今すぐできる筋トレ始めませんか?

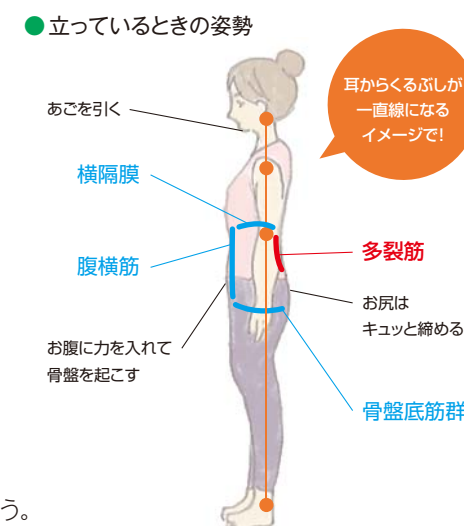
筋肉の基礎知識

人間の根本的な機能を支える体幹筋

前回、体幹筋は“お腹回りを支える筋肉”とご紹介しましたが、
腹横筋、横隔膜、多裂筋、骨盤底筋群の大きく4つに分類することができます。
それぞれ、呼吸や姿勢の維持など根本的な機能のための大切な役割を担っています。

上半身を支える多裂筋。 正しい姿勢を意識し、鍛えましょう!

多裂筋は背中から腰を支える筋肉です。この筋肉を鍛えれば、
骨盤が安定し、腰痛が和らいだり、身体のバランスがよくなります。
多裂筋を鍛えるには、普段の生活の中で正しい姿勢(右イラスト)を意識し、
保つことが最も効果的です。トレーニングと併せて、日常の姿勢を気にしてみましょう。



今すぐできるプチ筋トレ

多裂筋を鍛える筋トレ

●姿勢を保てるとき



腕と脚は
水平に
上げましょう!

●つらいと感じたとき



片脚を
上げるだけでも
効果があります

- ① 布団やマットの上に両手、両膝をつきます。
- ② 右腕、左脚を水平に上げます。
- ③ 腰や背中を反らせないように注意し、10秒間保ちます。
- ④ 反対の腕、脚(左腕、右脚)に入れ替え、10秒間保ちます。
- ⑤ ③・④を2、3セット繰り返します。
- ⑥ つらいと感じたときは、脚だけに切り替えましょう。

Interview
リハビリテーション部
伊藤 汐里



最低でも週2回は行うようにしましょう。代謝が上がり、ダイエットにも効果があります!



かなめとは扇の末端になる骨を留める金具のことを指します。
かなめが無いと扇はバラバラになる事から、
かなめは「物事をまとめる中心」を意味するようになりました。
三井記念病院のかなめ取材していきます。

第11回 総合健診センター

予知・予防で健康を支える要^{かなめ}

健診とは健康診断のことであり、健康状態を確かめ早期に病気を発見したり、病気の予防をすることが目的です。なかでも身体の状態を一日で把握できるのが人間ドック健診です。受診者はさまざまな検査を行い、検査当日に医師から説明を受け、保健師や看護師より個々の生活スタイルに沿った保健指導も受けられます。病気の早期発見、予知・予防を目的に受診者の健康を支援する役割を担うのが、総合健診センターです。

病院は各診療科に分かれているので、一人の主治医に身体全体を総合的に診てもらうことが難しい場合もあります。そこで総合健診センターでは三井記念病院と協力し、受診者の病歴、治療歴を踏まえ、安心・安全な健康診断を行い、身体全体を評価しています。病院は誰もが治療を目的に訪れますが、健診の場合は一人ひとりの思いが異なります。健康意識の高い方から、何となく受診している方までい

ろいろです。検査結果だけにとらわれず、受診中の様子から一人ひとりに合わせた対応ができるように職員は心がけています。

今後は、看護師、保健師を中心に保健指導やフォローアップをさらに整えていきたいと思っています。適切で実行可能な生活改善を提案し、受診者の健康維持を支えるとともに、病気になった時には相談相手にもなるような施設になると良いと思っています。



受付対応の様子。受付係とコーディネーターが丁寧に対応します。



受付後の様子。受診者一人ひとりにコーディネーターがつき添い、検査の案内をします。



採血の様子。安心・安全の検査をこころがけています。



医師との面接の様子。分かりやすい言葉で丁寧に検査結果を解説します。受診者の要望に合わせ、後日の説明にも対応しています。

三井記念病院の 登録医紹介

20

三井記念病院では、地域医療機関との相互連携を一層密にし、医療を必要とする患者さんのニーズに応え、適切で切れ目のない医療提供の実現を目指しています。このコーナーでは、三井記念病院の登録医としてご協力いただいている先生方を紹介していきます。

神田クリニック

JR神田駅に程近く、外来診療から健康診断も受診できる神田クリニック。循環器内科を専門とする馬淵院長を中心に、神田周辺の働き盛りのサラリーマンなど幅広い層の健康管理を担っておられます。



Interview

馬淵 浩輔 医師



- 院長：馬淵 浩輔(まぶち こうすけ)
- 住所：東京都千代田区内神田2丁目4-1
神田メディカルビル2-8F
- TEL：03-3252-0621
- 診療科目：内科、循環器内科、消化器内科、整形外科、皮膚科、人間ドック、健康診断、画像診断(MRI)
- 外来診療時間：月～金 09:30～12:30、14:00～17:30
(土曜は09:30～12:30)
- 休診日：日曜、祝日、第2・4土曜
- URL：http://www.kanda.or.jp/

— 医師を目指されたきっかけは？

祖父の代から続く開業医の家庭で育ったので、患者さんのために昼夜を問わず働く祖父や父の姿を見て、医者になるのは家業だと思っていました。

— 先生の専門領域は？

循環器内科です。父が循環器内科を専門としていたこともあり、早くからその分野の面白さや難しさについて教えられていたように思います。

皆さんも健康診断などで心電図検査を受けられ、機械から波形が描かれた紙が出てくるのを見たことがあると思いますが、その心電図には非常に多くの情報が詰まっています。これを正確に読み解くことで、心筋梗塞など心臓の病気の予兆を見つけることが出来ます。近年は画像診断なども発達していますが、私は心電図検査も大事にし、双方の良いところをとって患者さんに適正な診断を提供したいと思っています。

— 診察で特に意識されていることはありますか？

生活習慣の中に病気が隠れていることが多いので、患者さんのバックグラウンドが引き出せるように、話やすく、話題が合うように気をつけています。患者さんとの雑談の中から病気の可能性がわかることもよくあります。場所柄、患者さんは企業の第一線で働いている方が多いので、私も毎日経済紙にも目を通してみなさんと話が合うようにしています。

— 独自の取り組みがありましたら教えてください。

同施設の中で人間ドックや健康診断を行っています。MRIを用いた多くのドックメニューを用意しています。心臓MRIドックも取扱っているため、心電図、心臓超音波とあわせた総合的な心臓評価を受けていただくことが出来ます。MRIは被爆もせず、造影剤を使わなくても冠動脈の評価を

行えるので、受診者様から好評を得ています。

— 地域連携についてどのようにお考えですか？

病診連携は、患者さんの人生を左右する非常に重要なことと捉えています。顔が見える関係を積極的に築き、紹介先の病院の得意・不得意を見極め、患者さんにとって最善の方法を提供したいと思っています。



MRI(磁気共鳴診断装置)を保有されており、より精密な診断が可能です。

News

三井記念病院で開催した行事やイベントをご紹介します

2016.
08

- 2016年8月20日(土)
チームNAKAJIMAによるボランティアミニ・コンサート 開催

2016.
09

- 2016年9月2日(金)
緩和ケア講演会「がん患者へのリハビリテーション」開催
- 2016年9月3日(土)
イズミノーツによるボランティアミニ・コンサート 開催
- 2016年9月3日(土)
社会保険労務士に相談しよう!お仕事に関する個別相談会 開催
- 2016年9月7日(水)
第27回公開臨床病理検討会 開催
- 2016年9月9日(金)
神田消防署主催「自衛消防訓練審査会」参加
- 2016年9月10日(土)～11日(日)
三井記念病院・東京通信病院共催
「ELNEC-J コアカリキュラム」開催
- 2016年9月16日(金)
いずみサロン「がんによる辛さを和らげる」開催
- 2016年9月17日(土)
秋葉原東部地区合同総合防災訓練 開催
- 2016年9月21日(水)
地域連携フォーラム「肺がん治療について」開催
- 2016年9月29日(木)
システム障害訓練 実施

2016.
10

- 2016年10月1日(土)
ピンクリボン月間
「乳がんとのつきあい方を考える会」のつどい 開催
- 2016年10月4日(火)
第3回語学講座「韓国語セミナー」開催
- 2016年10月15日(土)
監査懇話会 楽友会男声合唱団による
ボランティアミニ・コンサート 開催
- 2016年10月15日(土)
さんとも会(前立腺がん患者会) 開催
- 2016年10月19日(水)
地域連携フォーラム「どこまで省略できる?
食道・胃の表在癌の治療」開催
- 2016年10月21日(金)
いずみサロン「こころの健康を考えよう」開催
- 2016年10月29日(土)～30(日)
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 開催

Pick Up!

2016年9月29日(木)

○ システム障害訓練 実施

電子カルテにシステム障害が発生し、患者さんの診療情報が閲覧できなくなった場合を想定した訓練を行いました。医師、看護師、事務職員が参加し、受付や診察対応の流れを確認しました。万が一システム障害が起こった場合、患者さんへのご迷惑を最小限に抑えるために、今後も定期的に訓練を行っていきます。



2016年10月1日(土)

○ 「乳がんとのつきあい方を考える会」のつどい 開催

当院では、乳がん治療を受けている方々やそのご家族を対象に「乳がんとのつきあい方を考える会」を開催しています。今回は10月のピンクリボン月間にあたり、患者さん同士が旧交を温めたり、新たな出会いを得るためのつどいとなりました。当日は約50名の方が参加され、乳腺内分泌外科 福内部長の講演をはじめ、座談会や医師への質問コーナーなどを行いました。



2016年7月～9月

皆さまから貴重なご寄付をいただきました

▶個人

保坂 陽子 様
吉原 伊都子 様
福田 信雄 様

下川 ヒサ江 様
松尾 雄志 様
四塚 朋子 様
長谷川 正史 様

内山 正道 様
青島 あつ子 様
杉浦 喜久子 様
鈴木 剛 様

石渡 光男 様
平田 達也 様
黒川 秀樹 様

▶法人

株式会社キングジム
株式会社タスクオブチカル

▶匿名希望

15名

(順不同)

※当法人への寄付は、社会福祉事業のための寄付金として税制上の優遇措置が適用されます。詳しくは当院経理課までご相談ください。

智 情 意

[chi・jyou・i]

チーム医療 — 協力、助けてくれる人がいる

私は、当院の隣にある千代田区立佐久間幼稚園～佐久間小学校の出身です。3歳の頃、頭部外傷に対して当院で処置を受けました。患者として、三井記念病院には感謝しています。当時、病院とは患者を受け入れる公的施設としか認識していませんでしたが、医師となった現在、医療を提供する根底には患者を思いやる心(ハート)が必要不可欠だと認識するようになりました。そして、地域の住民の方々に対して、少しでもお役に立てるように2010年から当院で勤務するようになりました。

我々が医療を提供するためには、私医師1人が提供できるわけではなく、看護師・事務・システムに係る従業員すべてがうまく組み合わさってよい医療を提供できるわけです。私は手術室で手術麻酔を提供しておりますが、紹介していただける外科医の先生、手術室の準備をしてくれる手術室看護師や手術室の助手、病棟の看護師、受付の事務員のスムーズな連携や業務の上に成り立っているわけです。

我々の提供する麻酔自体は患者さんの治療をするものではなく、主に患者さんの催眠と痛みを和らげることを提供するものです。外科医の先生方には手術をやり易い環境を提供します。痛みに対する反射的な体動を抑制したり、呼吸や循環動態(血圧や脈拍数など)を

最適化します。呼吸は主に人工呼吸により調節します。この人工呼吸の設定によって、術後の呼吸器合併症(肺炎や上気道炎、肺水腫など)の発生率を低下させることが可能です。血圧や脈拍数の最適化もやはり、患者さんの安全だけでなく、手術のやり易さにも関係してきます。

安全・安心、信頼される 手術医療のために

公共交通機関や食の安全などにも求められているように、我々三井記念病院は安全な手術医療を患者さんに提供するために努力を続けています。当院では、2010年から世界保健機関(WHO)の推奨する手術に関するチェックリストを導入しました。これは、麻酔や手術を提供する前と終了時に、安全な医療を提供するための準備に関する確認と、手術室で施された医療内容の病棟への伝達事項、手術後の治療内容と注意点を外科医・麻酔科医・手術室看護師で手術室内において確認するものです。これにより、シームレスな治療の継続が病棟から手術室、手術室から病棟へと受け継がれていくわけです。また、日本国内のガイドラインだけでなく、世界で発表されたガイドラインなどをもとに、患者さんの早期回復を導く方法も導入し、改良し続けていきます。今後とも、地域のみならず、当院を利用する患者さんすべての方に、安全で安心される医療の提供を心がけていきます。



麻酔科部長、中央手術部部長

寺嶋克幸